

公民連携対話窓口「いっしょにやらいや」実績（令和6年度末時点）

種類	No.	提案年度	実施年度	タイトル	提案者	提案内容（概要）	市へのメリット	提案者へのメリット	実施内容	実施成果	担当課
自由提案	1	R1	R2	弓浜コミュニティ広場クラブハウス設置	一般財団法人鳥取県サッカー協会	○鳥取県サッカー協会が弓浜コミュニティ広場にクラブハウスを設置することにより、広場利用者の利便性の向上を図る。設置後、市が5年間賃借した後、協会から市に無償譲渡する。（リース方式）	・施設の利便性向上 ・市単独で事業実施するより建設費を抑えることができる。	・利便性の向上によりサッカー利用者の増加が見込まれる。	○令和2年10月11日オープン ○市直営にてクラブハウスを設置（防衛省交付金及び日本サッカー協会の助成金を活用） 一部採用（クラブハウス設置の趣旨は採用し、リース方式は不採用）	●クラブハウス設置による、利用者の利便性の向上（熱中症の防止、荒天時の退避）による広場の利用者数の増。 設置前 R元年度 利用件数 291件 利用団体 41団体 利用者数 17,775人 設置後 R6年度 利用件数 675件 利用団体 73団体 利用者数 42,678人 ※上記の数値は、第1多目的広場のみ（第2多目的広場を除く。）。 ※第2多目的広場について、利用申請を義務付けておらず、正確な集計数値が取れていないため。 ●コミュニティ広場利用者からの声 ・練習後、チームでミーティングできる部屋があるのはありがたい ・安全に荷物を置く場所ができた ・雷などの急な天候不良時に、逃げる場所があることはとても安心 ・すべての部屋にエアコンがあるのはありがたい ・更衣室は2部屋までの施設が多い中で、4部屋あることは大会を開催する際にとてもありがたい	まちづくり企画課
	2	R1	R2	米子市観光センターと温泉資源を活用した「ダンスの聖地化」事業	鳥取県ダンススポーツ連盟	○米子市観光センターにダンススポーツに適した機能を付加することにより、ダンススポーツの振興による皆生温泉の活性化を図る。	・施設の利便性向上 ・観光センターの機能強化による新たな誘客の増加	・施設の利便性向上 ・ダンスを楽しむ場所が増え、ダンススポーツの振興に繋がる。	○令和3年1月に整備完了	●観光センターの利用件数及び利用人数の増。 (多目的ホール) R2 261件・4,430人 R3 238件・4,580人 R4 292件・7,139人 R5 412件・9,318人 R6 418件・8,818人	観光課
	3	R1	R3	バーベキュー場運営	株式会社スマイルキューブ	○弓ヶ浜公園旧わくわくランド内にバーベキュー台を設置し、バーベキュー場として運営することによる公園の利活用を図る。	・弓ヶ浜公園旧わくわくランドの有効活用 ・弓ヶ浜公園の新たな誘客につながる。 ・施設使用料が毎年、市の収入となる。	・市有財産の利活用（既存の駐車場、広場を活用できる。）	○令和4年4月1日オープン	●公園内使用にかかる行政財産使用料 令和5年度27,336円／年、令和6年度27,336円／年 ●公園利用者数 令和5年度279人、令和6年度170人 ※営業期間 7～9月	都市整備課
	4	R3	R3	白鳳の里をフレイルの拠点として活用する実証事業	株式会社コロンブス	○白鳳の里をフレイルの拠点として活用する実証事業によりフレイル予防の実践を図る。	・市有施設の有効活用 ・提案者が開発したフレイル早期発見システム（ASTER II）を使用することで、ICTを活用したフレイルの早期発見が可能	・市有財産の利活用（温浴施設と飲食施設を兼ね備えた白鳳の里の資源を活用できる。）	○「フレイル対策拠点事業」（令和3年6月補正予算）として、令和3年9月から令和4年3月の間にフレイル予防に係る運動教室を実施。	●実施期間内（令和3年9月～令和4年3月）において、6つのフレイル予防教室を延べ118回開催、延べ参加者数940人。 ●フレイル対策の体制を強化するため、令和4年度にフレイル対策推進室の設置、令和5年度にフレイル対策推進課を設置。	フレイル対策推進課
	5	R3	R5	米子市公会堂前大型LEDビジョンを利用した情報発信	株式会社染創	○交通量の多い公会堂前に大型LEDビジョンを設置することにより、効果的な官民の情報提供を図る。	・費用をかけず、交通量の多い場所で効率よく市政情報を発信できる。 ・土地賃付料及び放映料が毎年、市の収入となる。	・市有財産の利活用（交通量の多い交差点に面した場所で、事業を実施できる。）	○令和5年5月15日から放映開始。	●本市の情報発信に寄与。 ●LEDビジョン設置費用、稼働後の電気代、修繕費等の維持管理費について市の負担はなし。 ●本市の健全財政に寄与。 設置による市への収入（630,000円／年） ・行政財産使用料（土地）30,000円／年 ・広告放映料 600,000円／年（50,000円／月） ※事業期間10年	文化振興課
	6	R3	R4	米子市学校校庭芝生化事業「外で遊ぶ元気な子どもをふやさいや」	株式会社SC鳥取	○市内小学校の校庭等の芝生化を行うとともに、自動芝刈りロボットを用いた管理及び芝生の運用（子どもが遊べるプログラムの定期開催等）を行う。	・提案者は芝生生産を耕作放棄地で行っており、市の課題である耕作放棄地対策となる。 ・校庭芝生化により、こどもの怪我防止、校庭温度上昇抑制等が期待できる。	・提案者の所属するJリーグの基本理念「Jリーグ百年構想」に則った地域密着施策の推進	○令和4年度から事業を開始。	●芝生化実施済みの小学校：10校／23校 R4 淀江 成実 R5 尚徳 伯仙 五千石 河崎 R6 彦名 啓成 R7 車尾 篠原屋  ※8年度以降については、各学校の意向を踏まえ、1年度に1～2校ずつ実施を図る予定。 ※維持管理をSC鳥取に委託。	こども施設課

種類	No.	募集年度	実施年度	タイトル	内容（概要）	市へのメリット	提案者へのメリット	応募者	実施内容	実施成果	担当課
特定課題提案	1	R1		「元老人憩の家」跡地利活用促進事業	○平成30年度末をもって用を廃した、「元老人憩の家」跡地は、海・砂浜までつながっている景観に優れた場所に立地していることから、観光に資する目的で有効活用することにより、「皆生温泉」というブランド力の向上及び更なる誘客につながることから、売却・跡地利用を検討するもの。	○平成30年度末をもって用を廃した、「元老人憩の家」跡地の利活用 ○「皆生温泉」のブランド力の向上及び更なる誘客に寄与	○市有財産の利活用（海・砂浜までつながっている、景観に優れた立地条件のもと、事業を実施できる。）	東大産業株式会社	○ホテル計画（開業時期：令和7年予定） ※皆生温泉のロケーション等を最大限いかしたホテルとして、エリアの魅力を発信 ※令和6年度計画変更	●皆生温泉エリアの観光振興に資するホテル計画を進行中 ※令和7年度開業予定だったが、開業遅延の見通し。 ※早期の開業に向け、引き続き調整を図る。	観光課
	2	R4	R5	米子市公共下水道施設等地域連携方式包括的民間委託導入事業	○公共下水道施設（終末処理場3か所、ポンプ場8か所、マンホールポンプ場49か所、真空ステーション1か所）の運転維持管理業務	○民間専門企業の技術力の活用により、運転、維持管理業務に必要な技術力の高度化に対応可能 ○運転・維持管理等に要していた時間を、政策立案業務に充てることができ、職員の生産性及び市民サービスの向上に繋がる。	【受託者のメリット】 ○複数年の包括的委託により、民間事業者の創意工夫を発揮しやすくなる。	クボタ環境・後藤工業・東芝共同企業体 (代表企業 クボタ環境エンジニアリング株式会社中国支店)	○令和5年4月1日から令和8年3月31日まで（3年間）	●包括委託することによる定性的効果 ・民間の専門企業と地元企業が連携することで、地元企業に下水道インフラ管理技術の移行を図ることができるようになつた。（地域連携方式の実現） ・市職員は、施設の再構築（内浜処理場再構築事業）や各施設の長寿命化対策といった運転業務以外の企画立案業務に注力できるようになつた。	施設課
	3	R6	R6	米子市二十歳を祝う会をいっしょにいわおう	○地元事業者の皆さまと一緒に二十歳の方を盛大にお祝いすることにより、「ふるさと米子」への愛着の更なる醸成を図る。	○二十歳の方に地元事業者が認知されることにより、将来就職活動をする際に地元事業者が選択肢に入ることを期待する。	○二十歳の方に地元事業者が認知されることにより、将来就職活動をする際に地元事業者が選択肢に入ることを期待する。	有限会社京都屋、株式会社稻田本店、エア・ウォーターアグリ＆フーズ株式会社、寿製菓株式会社、株式会社源吉兆庵、永伸商事株式会社、ローカルエナジー株式会社	○令和7年1月に開催された米子市二十歳を祝う会の実施に当たり、地元事業者からの協賛を募り、7事業者からの協賛をいただいた。協賛品については、記念感謝の副賞、抽選会景品により出席者への提供、協賛金「20年のあゆみ（映像作品作成）」を作成し当日に放映を行つた。 ●出席者に地元事業者を認知していただき、将来就職活動をする際に地元事業者が選択肢となることを期待。	生涯学習課	